

● **内政**

1 中国による違法採掘・環境規制違反の実態が特報

News Diggers は、中国企業による違法採掘・環境規制に違反する行為が横行しているとの報告を、“Blood Copper（血塗られた銅）”というタイトルで特報した。中国企業が違法採掘現場崩落に対する救援として送った人員がそのまま違法採掘を継続する現況、街中や学校近傍で環境規制に適さない鉱物精錬などが実施され地域住民の健康が危険にさらされている実態、そして当該地区選出の政治家や警察がそれを黙認している様子が赤裸々に綴られている。（8月6日付 News Diggers）

2 国際 NGO、違法採掘報道を踏まえて声明

国際 NGO であるトランスペアレンシー・インターナショナル・ザンビアの代表は、項1の報道を受け、政府及び警察機構に対し違法採掘及び国民生命の危機に対して説明を求めた。また、違法採掘の横行により国庫への歳入が伸び悩む中、適切な監理体制の構築を含めた、政府の本腰を入れた対策を求めた。（8月7日付 News Diggers）

3 中国の違法操業について政府内見解が相違

項1の報道を受け、ムレンガ商業・貿易・産業大臣は、報道にある中国企業は適切なライセンス保持及び環境規制に則った操業をしていると表明した。他方でザンビア環境管理局（ZEMA）は同地域での工場設置などについて把握をしておらず、監督官庁として認可をしていないと表し、政府内で見解が相違している。（8月7日付 News Diggers）

4 政府、7月の政府支出を説明

財務・国家計画省は、2024年7月に168億クワチャ（約1,000億円）の政府支出を実施したと表明した。そのうち43億クワチャが国内・対外債務及び延滞金の返済に充てられた。また、

41億クワチャが公務員の給与に充てられた。債務の内訳は31億クワチャが国内債務、3.2億クワチャが対外債務、8.8億クワチャが延滞金となる。（8月11日付 News Diggers）

5 警察による超法規的殺人行為が上半期で20件発生

警察公共苦情委員会（PPCC）は、警察による超法規的殺人（逮捕時の不必要な殺人など）が生じているとし、警察に対し改善を要求した。ザンビア警察の人権軽視の姿勢については、国際 NGO、人権委員会などからも批判の声が上がっている。（8月14日付 News Diggers）

6 IMF 地域代表、野党の言動を非難

IMF ザンビア地域代表は、IMF がザンビア政府や公的機関に対し資産売却の圧力をかけているという発言を野党党首が発したことに對し、ザンビアでの経済議論は政治的要素が過分であり本質的議論が少ないとし、野党党首の発言は事実無根であると非難した。（8月16日付 News Diggers）

7 大統領、LGBTQ を認めない旨の発言

ヒチレマ大統領は、キリスト教関係者との会合の中で、ザンビアは不自然な性的行動を許容しない（will not support negative and unnatural sexual practices）旨発言した。具体的な罰則などには触れていない。（8月19日付 News Diggers）

8 国内流通しているトウモロコシからカビ毒が検出

ザンビア国民が主食としているミーリーミール（トウモロコシ）について、複数ブランドの製品からアフラトキシン（カビ毒）が検出され、数百頭の犬が死亡するなどの健康被害が生じている。政府は適切に検査をし、カビ毒が検出されたミーリーミールは廃棄するとしているが、根本的な原因

については解明が待たれている。(報道まとめ)

9 国連人権理事会、ザンビアの人権保護に関して懸念を表明

国連人権理事会の専門家らは、ザンビアに関する現地調査の後、野党関係者、人権活動家に対する恣意的な逮捕や拘留、及びザンビアにおける報道の自由、平和的抗議や集会への制限について懸念を表し、即時改善を求めた。なお、政府は同発表について事実無根であるとし、失望と抗議の意を表している。(報道まとめ)

● 外交・対外関係

1 大統領、ブルンジ大統領と会談

ヒチレマ大統領は、当地訪問中のブルンジ・ンダイシミア大統領と会談した。会談の中では二国間関係の強化に向けた議論が交わされるとともに、ナカラ回廊・ロビト回廊をタンガニーカ湖を經由してブルンジに接続するビジョンが話し合われた。また、ザンビアの食糧危機に対し、ブルンジから5,000トンの食糧援助が表明された。(8月1日付大統領 Facebook)

2 外相、中国外相と会談

7月30日から8月2日にかけて、ハインベ外相は中国を公式訪問した。中国・王毅外相との会談の中では、一つの中国政策を遵守し、中国の主権と領土保全の維持を支援していくとハインベ外相は述べた。また、王毅外相からは、タンザン鉄道の共同活性化、沿線地域の包括的な開発の調整、ザンビアの自主的な開発能力と工業化レベル向上の支援について言及があった。(当館注：なお、当該報道はザンビア国内では報道されていない。)(7月31日付 新華社通信)

3 外務事務次官、中国外務省関係者と会談

8月1日、グンデルセン外務事務次官は、当地

訪問中の中国外交部対外安全行政局副局長と会談した。会談の中では、二国間関係の強化に関する議論が実施された。(8月2日付 外務・国際協力省 Facebook)

4 大統領、ウクライナ外相と会談

8月6日、ヒチレマ大統領は当地訪問中のウクライナ・クレーバ外相と会談した。会談の中では昨年ヒチレマ大統領がアフリカ首脳によるウクライナ和平イニシアティブでウクライナを訪問し、ウクライナに対し変わらぬ支援を続けていることへの謝辞が述べられるとともに、未曾有の干ばつ被害に苦しむザンビアに対して食糧・エネルギー分野での支援意向が表された。ヒチレマ大統領からは、ロシアとウクライナの変わらぬ戦争状況にも関わらずザンビアを訪問したことへの謝意とともに、戦争を終わらせることが第一であり、そのために出来ることをすると表された。(8月7日付 News Diggers)

5 外相、SADC 政治・防衛・安全保障オーガン・トロイカ首脳会合へ出席

8月16日、ハインベ外相はジンバブエ・ハラレで開催された SADC 政治・防衛・安全保障オーガン・トロイカ首脳会議に出席した。同会議の中でオーガン議長であるヒチレマ大統領はオンラインで挨拶し、次期議長であるタンザニアへの支援を約束した。会合の中ではコンゴ民主共和国やモザンビーク共和国の治安情勢、及び地域における民主主義の強化など、SADC 地域にとって重要な問題について議論された。(8月16日付 外務・国際協力省プレスリリース)

6 外相、SADC 首脳会合へ出席

8月17日、ハインベ外相はジンバブエ・ハラレで開催された SADC 首脳会議に出席した。同会議の中では、アフリカ開発銀行の次期総裁候補としてザンビア人候補者が SADC 候補として選出さ

れるとともに、SADC 地域統合アジェンダの優先事項の実施状況についても見直しが行われた。また、地域内で甚大な被害が発生している干ばつ及び洪水に関し、被害状況や対応が議論された。(8月17日付 外務・国際協力省プレスリリース)

7 大統領府・外相、ジンバブエとの友好をアピール

SADC 首脳会議などにヒチレマ大統領が参加せずハインベ外相が参加した件について、野党やジンバブエ関係者が疑義を述べていることを受け、大統領府報道官及びハインベ外相はそれぞれの立場で両国の友好関係をアピールした。大統領の不参加については様々な行事の日程繰りのためであり、それ以上の意味はないと表した。(8月17日、18日付 News Diggers)

(了)